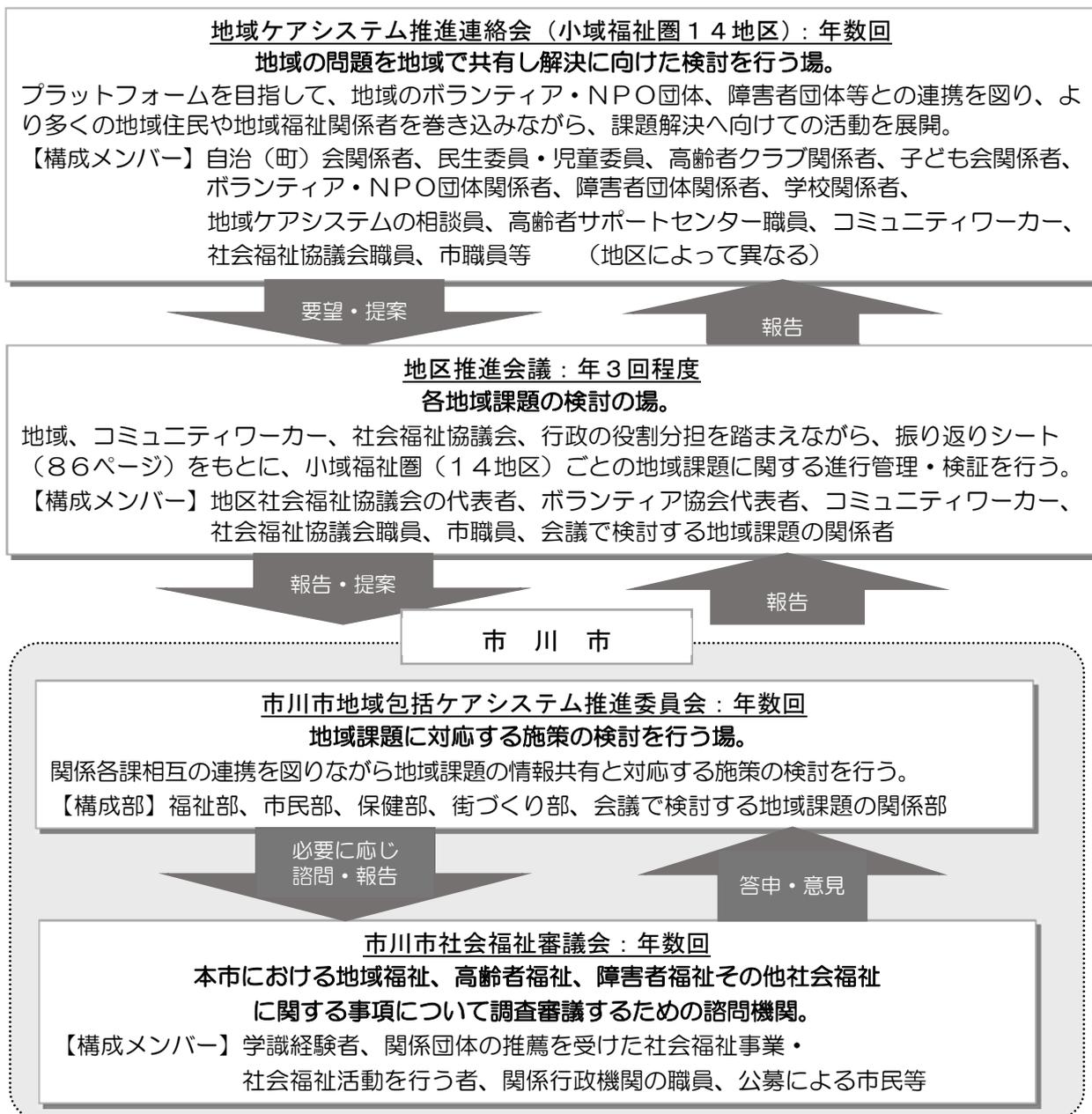


計画の推進のために

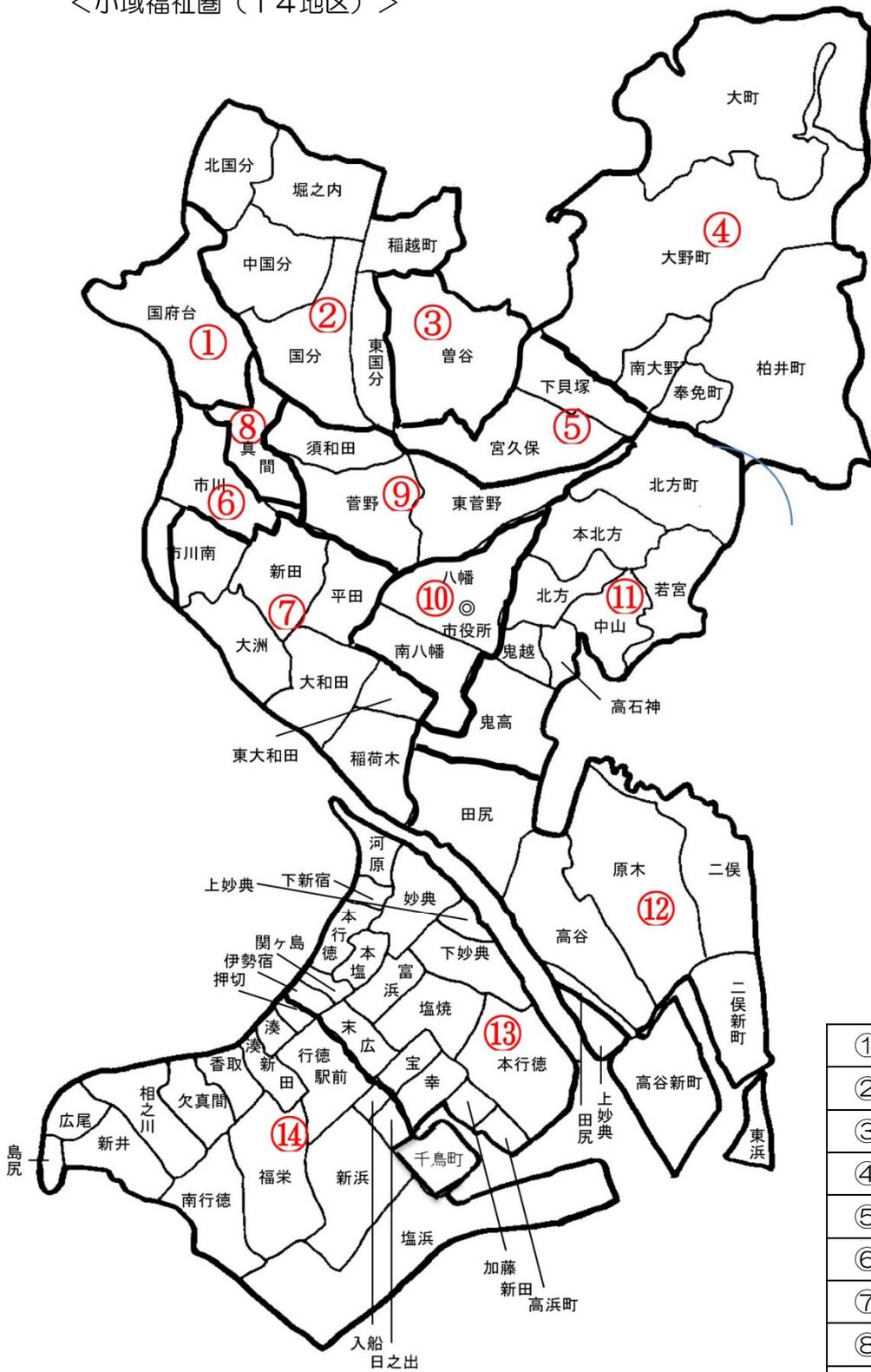
1 地域福祉推進体制の充実

地域福祉の推進にあたっては、小域福祉圏（14地区）の核となる「地域ケアシステム推進連絡会」で取り上げられた地域課題を「地区推進会議」で共有し、課題解決に向けた検討・提案を地域が中心となって進めていきます。

本市は、地域活動の報告・提案を受けて課題解決への支援及び政策的課題への取組につなげて、その結果を地域住民と共有することで、ともに解決に向けた取組をさらに進めていきます。



<小域福祉圏（14地区）>



①	国府台地区
②	国分地区
③	曾谷地区
④	大柏地区
⑤	宮久保・下貝塚地区
⑥	市川第一地区
⑦	市川第二地区
⑧	真間地区
⑨	菅野・須和田地区
⑩	八幡地区
⑪	市川東部地区
⑫	信篤・二俣地区
⑬	行徳地区
⑭	南行徳地区

<振り返りシート>

地域住民、社会福祉協議会、コミュニティワーカー、行政が各地区の地域課題の情報共有を行うとともに、地域課題に関してどのように取り組んだのかを毎年度振り返るためのシートです。本市は、施策の検討にあたっての地域課題の正確な把握と、地域課題に関する適切な進行管理のため、このシートを活用していきます。なお、このシートは市川市社会福祉協議会が策定する「わかちあいプラン」との共通フォーマットです。

振り返りシート (平成 年度)		キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当C.W、広環C.Wの取り組み	行政（市川市）の取り組み
地区別計画テーマ						
テーマ1 てるぼがロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の広報・PR 活動の場の確保 地域の担い手の確保・育成 					
テーマ2 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	<ul style="list-style-type: none"> 相談機能の強化 地域ケア拠点の充実 団体間・関係機関との連携・協働 個別ケースの検討 地域における福祉課題の実情把握 (例)「こみ出し」「認知症の徘徊」「孤立死・孤死」「生活困窮」「こみ居統」「防災・防犯」					
テーマ3 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の変え合い～	<ul style="list-style-type: none"> お互いさま事業の具体化 					
テーマ4 その他	(例) <ul style="list-style-type: none"> 個人情報取扱い 攻玉場における対応 					
		地域福祉活動を進めていくうえで市の社協への意見・要望・期待				
		地域福祉活動を進めていくうえで行政への意見・要望・期待				

2 計画の進行管理

地域課題に対応する施策については、市川市地域包括ケアシステム推進委員会において検討し、毎年度、地区推進会議に報告します。また、本計画全体の進捗状況については、下記のとおり2種類の指標で評価を行い、その結果を公表します。

＜アウトプット指標（施策・事業を実施したことにより生じた結果を表す指標）＞

進行管理事業ごとに、数値目標等に対する実績、課題、対応策等について、毎年度評価を行います。

＜アウトカム指標（施策・事業を実施したことにより生じた成果を表す指標）＞

進行管理事業を位置づける施策の方向ごとに、下表の内容について、平成30年度、平成32年度、平成34年度に、それぞれ評価・分析を行います。

施策の方向	測定方法	内容	目標	
1 情報の提供	e-モニターアンケート* ※施策の方向6については、福祉サービス利用者のみを対象	必要な福祉に関する情報を得られていると思う割合	増加	
2 地域における相談支援・生活支援の充実		福祉に関する相談が必要な場合にどこに相談すればいいか知っている割合	増加	
4 権利擁護と見守り体制の充実		成年後見制度を知っている割合	増加	
5 サービスの質の向上		福祉サービスの質に満足している割合	増加	
6 福祉コミュニティの充実		地域コミュニティ（お祭り、防災訓練、公園清掃、その他地域の行事）に参加している割合	増加	
7 地域における防災体制充実の推進		地域での関係づくりなど、防災体制の整備に向けた地域活動が充実していると思う割合	増加	
8 ボランティア・NPO活動の推進		ボランティア・NPO活動に参加している割合	増加	
11 住環境の整備		バリアフリー対応など住宅に関する不安を感じている割合	減少	
13 就労と社会的自立の支援		就労支援、社会的自立の支援が充実していると思う割合	増加	
15 移動の自由の確保		移動に関して不自由を感じる割合	減少	
16 地域福祉に対する意識の啓発		支え合いの意識を持って地域福祉活動に参加している割合	増加	
17 地域活動の担い手の確保と育成		福祉委員へのアンケート	地域活動の担い手が確保できていると思う割合	増加
18 地域資源の有効活用			地域活動の場が確保できていると思う割合	増加
19 情報共有・管理の充実			活動に必要な情報の取得方法、適切な保管・管理方法を知っている割合	増加

3 市川市社会福祉協議会との連携強化

地域福祉は、公的な責任による「公助」だけでは対応が困難であるとともに、個人の「自助」だけでも限界があることから、近隣の住民による「互助」やボランティア・NPO団体等と協働した「共助」が欠かせないものとなっています。そして、地域福祉の原点は住んでいる地域を基盤とした人間関係（地縁）であるとの考えに立つ市川市社会福祉協議会の「わかちあいプラン」では、この「互助」と「共助」に係る基本的な考え方、取組の方向性、具体的な事業を定めています。

もとより行政は互助や共助を支援していく役割を担っており、一方、社会福祉協議会は互助や共助を実践していく立場にあります。このことから、本市の「地域福祉計画」と市川市社会福祉協議会の「わかちあいプラン」は車の両輪の関係にあり、地域福祉の増進には両者が一体となった取組が不可欠です。

第4期計画より、小域福祉圏（14地区）ごとの地域課題に関する進行管理・検証を共通のフォーマット（「振り返りシート」、86ページ）で行うこととするなど、「地域福祉計画」と「わかちあいプラン」は、これまで以上に連携を強化し、協力する体制を確立していきます。